

# 復興フォーラム 開催記録



平成23年度から『東日本大震災からの復旧・復興』をテーマに開催。

土木部からの報告や基調講演、パネルディスカッションなど、復旧・復興の経験や教訓の振り返りを行うことで、未来へどう伝え継いでいくかを考える機会を設けてきました。

平成23年度 H24.2.9

# 東日本大震災社会資本再生・復興シンポジウム

## 「～東日本大震災から美しいふるさと宮城の復興に向けて～」

震災発生から約1年、震災時の初動対応や復興に向けた考え方・取組など、発表・パネルディスカッションを通じて学び、今後の災害対応や復興に役立てる。

■会場：宮城県庁行政庁舎2階講堂

■来場者数：446名



### ●基調講演 1

「想定外を克服するために」

国土交通省 国土技術政策総合研究所長 西川 和廣 氏



### ●基調講演 2

「巨大津波の被害実態と今後の防災・減災対策について」

東北大学大学院工学研究科附属 災害制御研究センター 今村 文彦 氏



### ●パネルディスカッション

「震災からの教訓を津波防災対策に活かすために」

■コーディネーター

ラジオパーソナリティ 板橋 恵子 氏

■パネリスト

西川氏, 今村氏, 安住前女川町長

阿部東松島市消防団長

古関河北新報社震災取材班キャップ

遠藤宮城県土木部次長



H24.2.6→17

県庁ロビーにて「東日本大震災 社会資本再生・復興パネル展」を同時開催



※役職等についてはフォーラム開催当時のものを記載しています。

平成24年度 H25.1.31

## 東北復興フォーラム in 宮城 ～住宅・社会資本再生～

震災発生から2年、宮城・東北の復興状況を内外に伝えるほか、国・県・被災町のそれぞれの復興への考え方・取組状況、有識者により津波防災・国土政策等の講演を通して、新たな防災対策に活かすとともに、復興まちづくり等の課題解決に向けた糸口を見出す。

■会場：宮城県庁行政庁舎2階講堂

■来場者数：471名



### ●基調講演 1

「東北地方の復旧復興について」

国土交通省 東北地方整備局長 徳山 日出男 氏



### ●基調講演 2

「南三陸町の被災状況と復興について」

南三陸町長 佐藤 仁 氏



### ●基調講演 3

「大津波災害への備え」

東北大学名誉教授 首藤 伸夫 氏



### ●基調講演 4

「社会資本の意義への理解を欠く日本  
一大災害頻発国での認識欠落」

財団法人 国土技術研究センター 大石 久和 氏



H25.1.21→31

県庁1・2階ロビーにて「東日本大震災 住宅・社会資本再生・復興パネル展」同時開催

※役職等についてはフォーラム開催当時のものを記載しています。

平成25年度 H26.2.7

# 宮城県土木部 発足80周年記念フォーラム

宮城県土木部80周年。震災から3年、復旧期の最終年度で、宮城の復興に向け新たに出発する年。これまでの80年のあゆみを振り返りながら、震災からの復興を通じ、更なる宮城の発展に向けて、これからの新しい年を切り開いていく。

- 会場：宮城県庁行政庁舎2階講堂
- 来場者数：480名



## ●基調講演 1

「これまでの自然災害の教訓に学ぶ、  
今後の社会資本整備のあり方」

東北大学災害科学国際研究所 副所長 今村 文彦 氏



## ●基調講演 2

「今後の社会資本整備の方向性」

一般社団法人 国土技術研究センター 理事長 谷口 博昭 氏



## ●パネルディスカッション

「次世代に豊かさを引き継ぐことのできる持続可能な宮城県土づくりに向けて」

### ■コーディネーター

河北新報社 編集局長 鈴木氏

### ■パネリスト

谷口氏, 今村氏, 門庭仙台商工会議所専務理事,  
門傳 宮城県土木部次長



H26.1.27→2.7

県庁ロビーにて「パネル展」開催



※役職等についてはフォーラム開催当時のものを記載しています。

## 再生・復興フォーラム～住宅・社会資本～

震災から4年、沿岸部の復旧・復興が本格化し、新たなステージに移行しつつある中、新たなコミュニティ形成などの課題が顕在化した。

阪神・淡路大震災などの先進事例から学ぶとともに、今後の持続可能な県土づくりに向け中長期的な視点から社会資本整備の役割やあり方について提言をいただいた。

■会場：宮城県庁行政庁舎2階講堂

■来場者数：285名



### [報告]

「宮城県における復旧・復興の取組と進捗状況」

宮城県土木部次長（技術担当） 久保田 裕



### ●基調講演 1

「先進事例に学ぶ復興

—中越から10年、阪神から20年—

一般社団法人 減災・復興支援機構 理事長 木村 拓郎 氏



### ●基調講演 2

「国土のグランドデザインと

今後の社会資本整備のあり方」

国立大学法人 豊橋技術科学大学 学長 大西 隆 氏



※役職等についてはフォーラム開催当時のものを記載しています。

平成27年度 H28.1.22

## ～住宅・社会資本～再生・復興フォーラム

震災から5年、沿岸部の復旧・復興が本格化し、復旧・復興の加速化が実感できるようになった。

国が定めた集中復興期間の最終年度、宮城県震災復興計画の再生期2年目で、復興計画期間10年の折り返しの年。

これまでの取組を踏まえ、今後5年間で何をすべきか提言をいただいた。

■会場：宮城県庁行政庁舎2階講堂

■来場者数：256名



## [報告]

「東日本大震災からの復旧・復興の状況について」



宮城県土木部 次長（技術担当）  
後藤 隆一



岩手県土木整備部 道路都市担当技監  
青柳 天氏



福島県土木部次長（企画技術担当）  
鈴木 典弘氏



東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部  
復興企画部 次長 白石 浩三氏



独立行政法人都市再生機構 宮城・福島震災復興  
支援本部 市街地整備部長 吉田 正喜氏

## ●基調講演

「東日本大震災から真の復興を果たすために」

東北大学大学院 震災復興研究センター長  
経済学研究科 教授 増田 聡氏



※役職等についてはフォーラム開催当時のものを記載しています。

## ～住宅・社会資本～再生・復興フォーラム

震災から6年、災害公営住宅への入居など、復旧・復興が加速的に進んだ。国が定めた復興・創生期間に移行した初年度、宮城県震災復興計画の再生期3年目。

集中復興期間の検証を踏まえ、復興後も見据えて今後取り組むべきこと、震災記憶の風化防止・震災教訓の伝承のあり方等について考える。

■会場：宮城県庁行政庁舎2階講堂

■来場者数：280名



### [報告]

「3県における復旧・復興の状況及びこれまでの取組の検証について」



宮城県土木部 技監兼次長（技術担当）  
久保田 裕



岩手県県土整備部 河川港湾担当技監  
八重樫 弘明氏



福島県土木部 次長（企画技術担当）  
杉 明彦氏

### ●パネルディスカッション

「集中復興期間の検証を踏まえ、今後なすべきことは何か」

#### ■コメンテーター

宮城学院女子大学 学長 平川 新氏

#### ■コーディネーター

エフエム仙台防災・減災プロデューサー 板橋 恵子氏

#### ■パネリスト

宮城県，岩手県，福島県土木部次長



※役職等についてはフォーラム開催当時のものを記載しています。

平成29年度 H30.1.26

## ～住宅・社会資本～再生・復興フォーラム

震災から7年、再生期最終年であり、県のさらなる発展を目指して、着実に「発展期」に繋げていかなければならない重要な年である。

こうしたことから、県における住宅・社会資本再生に向けた事業の進捗状況及び残り3年となった復興期間の取組について報告するとともに、これまでの防災対策を根本から見直すため、東日本大震災当時を改めて振り返りそこから学んだ貴重な震災教訓を伝承するほか、復興後を見据えた今後の社会資本整備のあり方について考える。

■会場：宮城県庁行政庁舎2階講堂 ■来場者数：378名



## [報告]

「宮城県における復旧・復興の進捗状況、発展期及び復興後を見据えた取組について」

宮城県土木部次長（技術担当） 門脇 雅之



## ●基調講演 1

「震災復興と伝承—私達の持つべき視点」

元国土交通事務次官（元東北地方整備局長）

政策研究大学院大学 客員教授 徳山 日出男 氏



## ●基調講演 2

「震災から7年を前に

～できたこと、これからやるべきこと～」

東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センター  
センター長 久田 真 氏



※役職等についてはフォーラム開催当時のものを記載しています。



# ～住宅・社会資本～再生・復興フォーラム 住まいの復旧・復興 総括

震災から8年、沿岸部の復旧・復興事業が進捗し、災害公営住宅への入居、防集団地の引き渡しや産業の再生が進み、復旧・復興を一層実感できるようになった。

「宮城県震災復興計画」の発展期の初年度で、県のさらなる発展を目指し、復旧・復興の総仕上げに向け取り組む重要な年。

こうしたことから、本県における住宅・社会資本の復旧・復興について報告するとともに、住まいに係る復旧・復興事業を振り返り、東日本大震災から得られた震災教訓を広く発信し、将来に向けた課題や伝承すべきことなどについて考える。



■会場：宮城県庁行政庁舎2階講堂 ■来場者数：188名

## ●基調講演 1

「超高齢社会における住まい方と住まい  
～東日本大震災の経験を経て」

東北工業大学工学部 建築学科長 石井 敏氏



## ●基調講演 2

「地域に根差した復興住宅の整備」

公益社団法人 日本建築家協会 東北支部 宮城地域会  
(JIA 宮城) 副地域会長 有限会社 都市建築設計集団/UAPP 代表  
手島 浩之氏



## ●基調講演 3

「UR 都市機構による災害公営住宅建設支援」

独立行政法人 都市再生機構 (UR 都市機構)

東日本賃貸住宅本部 技術監理部設計第1課 助川 護氏



## [報告]

「宮城県の住まいの復興について」

宮城県土木部技監兼次長 (技術担当) 三浦 俊徳



※役職等についてはフォーラム開催当時のものを記載しています。

令和元年度 R2.1.24

# ～住宅・社会資本～再生・復興フォーラム まちづくりの復旧・復興フォーラム

復興計画期間残り1年、最終年度につなげる重要な年である。  
県における住宅・社会資本再生に向けた事業の進捗状況及びこれまでの取組について報告し、まちづくりの復旧・復興事業の現状について検証・総括。

■会場：宮城県庁行政庁舎2階講堂

■来場者数：210名



## [台風第19号被災状況報告]

「台風第19号に学ぶハード・ソフト対策のあり方」

東北大学 災害科学国際研究所 准教授 森口 周二 氏



## [報告]

「宮城県の復旧・復興の状況について」

宮城県土木部 次長 佐藤 達也



## ●基調講演 1

「東日本大震災からの復興まちづくり」

国土交通省 都市局 市街地整備課 企画専門官 村上 努 氏



## ●基調講演 2

「復興の『新しいまち』から『育むまち』へ  
～石巻市 新市街地における  
被災市街地復興土地区画整理事業～」

石巻市 復興事業部 市街地整備課 課長 草刈 明彦 氏



※役職等についてはフォーラム開催当時のものを記載しています。

